

1 種子の発芽と成長



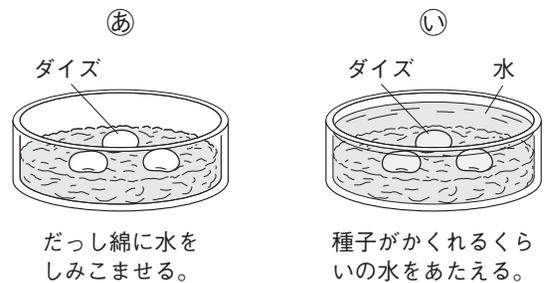
はじめに考えてみよう

例題 まさとさんは、ダイズの種子の発芽に興味をもち、次の実験と考察を行いました。

【実験の目的】 ダイズの種子が発芽する条件を調べる。

【実験】

- ① ダイズの種子を複数用意し、2つに分けて、1つの集まりを種子①、もう1つの集まりを種子②とした。
- ② 図のように種子①はしめらせただし綿の上にまき、種子②は水の中にしずめるようにまいた。
- ③ 種子①も種子②もともに、温度を20℃程度に保った日の当たる部屋の中に置いた。
- ④ 10日後、それぞれ発芽しているか確認した。



【結果】 種子①は発芽していたが、種子②は発芽していなかった。

【考察】 実験の【結果】から、ダイズの種子が発芽するためには、種子がこきゅうするための空気が必要であると考えられる。

問い 【実験】の②の下線部で、種子②を水の中にしずめた理由を、この実験で調べたかった発芽の条件をふまえて説明しなさい。

考え方 問いでは、「実験で調べたかった発芽の条件をふまえて、種子②を水の中にしずめた理由を説明する」ことが求められているため、まず、実験で調べたかった発芽の条件が何かを考え、次にその条件が種子②を水の中にしずめることとどのような関係があるかを考えていくことが、この問いを解く上でのポイントになります。

この実験の【考察】で「ダイズの種子が発芽するためには、種子がこきゅうするための空気が必要である」とあることから、この実験で調べたかった発芽の条件は、①〔 〕であることがわかる。

次に、〔①〕に着目して、【実験】の種子①と種子②のちがいをみると、種子①はしめらせただし綿の上にまかれており、〔①〕にふれていることがわかる。一方、種子②はすべて水の中につかっていることから、〔①〕にふれていないことがわかる。

したがって、種子②を〔①〕にふれさせないために、②〔 〕ということができる。

この実験のように、種子①と、種子①と1つ条件を変えた種子②で実験し、種子が「発芽した」「発芽しなかった」というちがう結果が出た場合は、変えた1つの条件が、種子が発芽するために必要な条件となる。もし、種子①と種子②の結果が同じになった場合は、変えた1つの条件が種子が発芽するために必要な条件ではないということになる。

例題の答え

③〔 〕

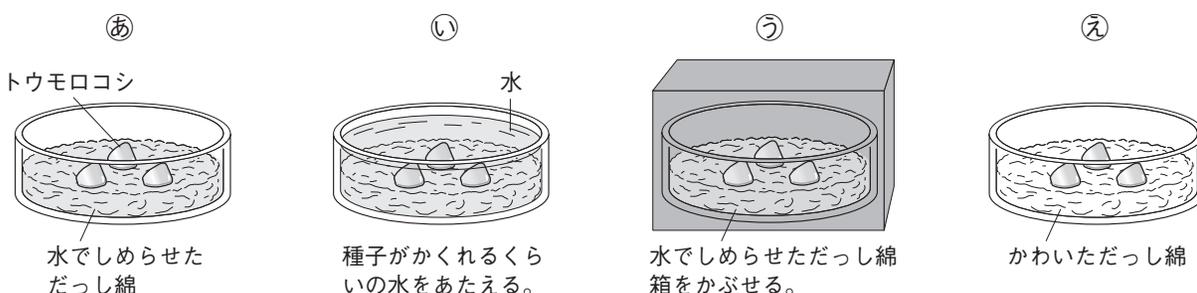
▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼ トレーニングしよう ▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

1 ゆうきさんは理科の授業でインゲンマメの種子の発芽の条件を勉強しました。ゆうきさんは、種子が発芽するために本当にその条件が必要なのかを調べるために、インゲンマメではないトウモロコシの種子を使って、次のような実験をしました。あとの問いに答えなさい。

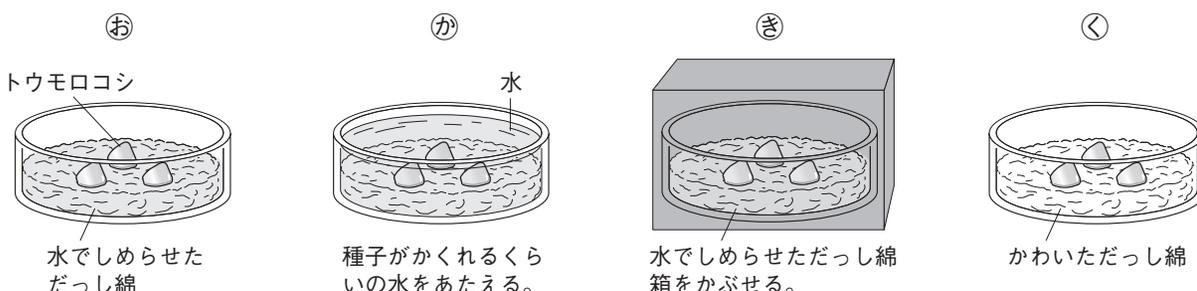
【実験】

- ① ペトリ皿、だっし綿、トウモロコシの種子を用意する。
- ② 条件を変えた8つのペトリ皿(あ)~(く)をつくる。そのうち、ペトリ皿(あ)~(え)を20℃の部屋に置き、ペトリ皿(お)~(く)を5℃の冷ぞう庫かくほの中に入れた。ただし、冷ぞう庫の中は光が確保されている。
- ③ しめらせただっし綿は、かわかないように水をあたえる。

20℃の部屋



5℃の冷ぞう庫



【結果】 発芽したものは○，発芽しなかったものは×で示している。

	あ	い	う	え	お	か	き	く
発芽したかどうか	○	×	○	×	×	×	×	×

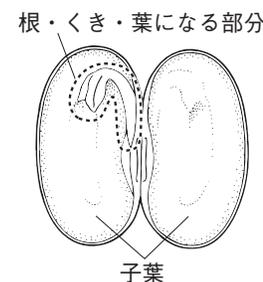
- (1) トウモロコシの種子の発芽に必要な条件は何ですか。【結果】からわかる条件をすべて答えなさい。
{ }
- (2) 【結果】より、トウモロコシの種子の発芽には光が必要でないことがわかります。光が必要でないことがわかる理由を、【結果】をふまえて答えなさい。
{ }
- (3) 【結果】より、トウモロコシの種子の発芽には肥料ひりょうが必要でないことがわかります。トウモロコシの種子の発芽に肥料が必要でないことがわかる理由を、【結果】をふまえて答えなさい。
{ }

1 種子の発芽と成長

2 ひかるさんとつばささんは、インゲンマメを育てようと考えています。そこでインゲンマメが発芽するために必要なことを実験で調べてみることにしました。次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひかる：インゲンマメの種子のことを図かんで調べて、インゲンマメの種子の中がどうなっているかがわかったよ。種子の中は、図1のようになっているみたいだね。

図1



つばさ：実際に種子を2つにわって調べてみると、図かんにのっているのと同じつくりをしているね。この2つにわった種子をまくと、どちらも発芽するのかな。

ひかる：実験をして調べてみよう。

【実験1】 2つにわった種子を、しめらせただし綿めんの上にそれぞれまいた。だし綿はかわかないように水をあたえた。

【結果1】 10日後に観察すると、一方は発芽したが、もう一方は発芽しなかった。

つばさ：種子が発芽するのに必要な条件じょうけんがあるのかな。わった種子のちがいについて考えると、発芽した方には根・くき・葉になる部分があるけど、もう一方にはないね。

ひかる：そうすると、根・くき・葉になる部分があれば発芽するってことだね。ほかにもどんな条件が必要か、さらに実験してもっとくわしく調べてみよう。

【実験2】 2つにわった種子から根・くき・葉になる部分を取り出し、図2のようにしめらせただし綿めんの上にまいた。だし綿はかわかないように水をあたえた。

図2

根・くき・葉になる部分



【結果2】 10日後に観察すると、成長していた。

つばさ：根・くき・葉になる部分は子葉がなくても成長するんだね。でも、あまり芽が成長していないみたい。

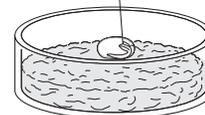
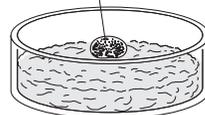
ひかる：成長するために必要なものが足りていないんじゃないかな。もう少し実験してみようよ。

【実験3】 2つにわらない種子と、2つにわって根・くき・葉になる部分と子葉の半分からなるもの、根・くき・葉になる部分のみとり出したものをそれぞれA, B, Cとする。これらを図3のようにしめらせただし綿めんの上にそれぞれまいた。だし綿はかわかないように水をあたえた。

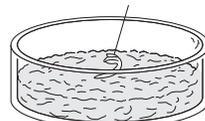
図3

A 2つにわらない種子

B 根・くき・葉になる部分と子葉の半分



C 根・くき・葉になる部分



【結果3】 10日後に観察すると、Aはくきが18 cm, Bはくきが5 cm, Cはくきが1.5 cmのびていた。

(1) Bと比べて、AとCの成長にちがいが出た理由を、「成長に使われる養分」ということばを用いてそれぞれ答えなさい。

A (

)

C (

)

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲ チャレンジしよう ▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

1 さくらさんのグループは、学校の近くの農場で職場体験しゅくばを行いました。次の会話文は、さくらさん、かおりさん、ひろきさん、ゆうたさんの4人が職場体験に向けての事前学習をしているときのものです。あとの問いに答えなさい。

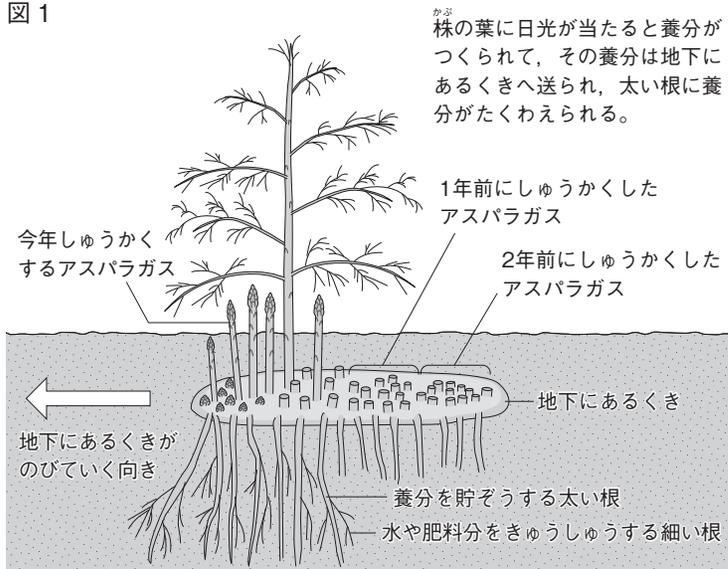
さくら：今度の職場体験で行く、村田さんの農場では、アスパラガスあすぱらがすを育てているみたいだよ。

ひろき：じゃあ、職場体験する前にアスパラガスについて調べようよ。

かおり：みんな、スーパーで売られてい

図1

るアスパラガスはどうやってしゅうかくしゅうかくされているか知っているかな。アスパラガスはタケノコのように生えてくるので、大きく成長する前にしゅうかくされるんだよ。イラストにしてみたから、図1を見てよ。根には養分ちよを貯たくわえる太い根と、水や肥料分ひりょうぶんをきゅうしゅうする細い根があって、アスパラガスは、太い根に貯たくわえられている養分を使って、芽を出し、成長していくんだよ。



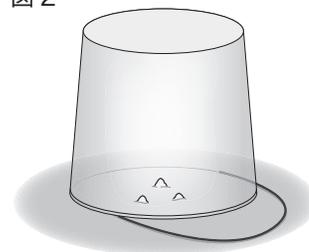
かぶ
株の葉に日光が当たると養分がつくられて、その養分は地下にあるくきへ送られ、太い根に養分がたくわえられる。

ゆうた：そうなんだね。そういえば、スーパーでグリーンアスパラガスとホワイトアスパラガスを見たことがあるよ。品種がちがうのかな。

かおり：グリーンアスパラガスとホワイトアスパラガスはどちらも同じ種類のアスパラガスを育てるんだけど、育て方がちがうみたいだよ。

ひろき：知っているよ。ホワイトアスパラガスは、アスパラガスの芽が出始めたら、図2のように、すぐにバケツをかぶせて、育てることができるんだよ。

図2



さくら：そうなんだね。それだけで、ホワイトアスパラガスができるんだね。ホワイトアスパラガスは、やわらかくて、苦味が少ないので好きだからよく食べるよ。

ゆうた：同じ種類のアスパラガスなのに、育て方を変えると見た目も味も変わるなんておもしろいね。

かおり：そういえば、テレビで見たんだけど、もやしもやしも少し似たような育て方をするよ。もやしは、リョクトウやダイズなどの種子を育てたものなんだけど、種子を湯ににひたして発芽しやすくしてから、湯からとり出し、20℃～25℃の暗い部屋で、長さが5cm～7cmになるまで、水だけをあたえて育てるんだよ。

さくら：もやしは、自分でもつくれそうなのでちょう戦してみようかな。

(1) ホワイトアスパラガスやもやしは、成長に必要なとされるどの条件をのぞいて育てますか。

{ }

(2) ホワイトアスパラガスが(1)の条件がなくても成長できる理由を、図1を参考にして答えなさい。

{ }

1 種子の発芽と成長

2 こうたさんとつとむさんは、ネギのさいばいについて調べ学習をしました。次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

こうた：この間、おつかいでネギを買いに行ったとき、全部が緑色のネギと、上の部分だけが緑色で、それ以外は白色のネギがあったので、どうして色にちがいがあのか調べてみたんだ。

つとむ：おもしろそうだね。どちらのネギも、全体の色はちがうけど、緑色の部分はあるよね。

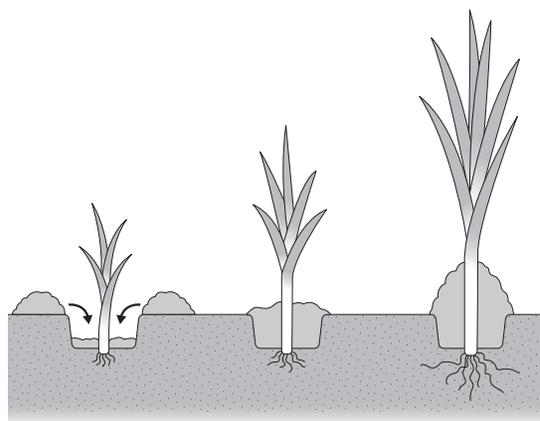
こうた：そうだね。全体が緑色のネギのことを葉ネギといい、白い部分の多いネギのことを白ネギというんだよ。この色のちがいは、さいばい方法にあるんだよ。

つとむ：そうなんだ。

こうた：葉ネギは種をまいてそのまま成長させるんだけど、白ネギのほうは土寄せつちよという作業を行うんだよ。

つとむ：土寄せって、聞いたことがないけど、どのような作業なの。

こうた：土寄せは、図のようにネギの成長した部分に土をかける作業のことで、ネギが大きくなるまでに3回ほど土寄せをするんだよ。ただ、土寄せをするとネギがかたくなってしまいうこともあ
るそうなので、土寄せのかわりに黒いフィルムでネギの成長した部分をおおう方法もあるみたいだよ。



土寄せ1回目 土寄せ2,3回目 最終土寄せ

つとむ：知らなかったよ。白ネギは葉ネギよりも手間がかかるんだね。

こうた：そうだね。白ネギを植えるときは、畑をしっかりと耕たがやしてから、植えるみたいだよ。畑の土がかたいと、植えることができないからね。それに、耕すことで、土の中に空気を入れこむことができるから、土寄せしても土中深くの根に空気がとどくんだよ。

(1) 白ネギをつくるために行う土寄せは、葉ネギをつくる時にある条件じょうけんをとりのぞくために行います。土寄せは、どのような条件をとりのぞくために行っていますか。

〔 〕

(2) 土寄せは1回で終わらせず、3回ほどに分けて行います。土寄せを1回だけ行うより3回に分けて行ったほうが白ネギの白い部分が長くなります。その理由を説明しなさい。

〔 〕

(3) 次の文は、白ネギをつくるときに、畑の土を耕す理由について述べたものです。文中の〔 〕の㊸・㊹にあてはまることばを答えなさい。

耕すことで畑の土を㊸〔 〕して、土の中に㊹〔 〕を入れることで、土寄せしたときに白ネギの根が土中深くなっても、根に〔㊹〕がとどくようにするため。

(4) 耕した土ひりょうに肥料まを混ぜることがあります。白ネギの成長に肥料こうかの効果がどのくらいあるかを調べるためには、どのような実験をするとよいですか。

〔 〕

3 ひかるさんとのおぞみさんは、種子のじゅ命^{じゅめい}について調べ学習をしました。次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひかる：この前、家の庭にアサガオを植えようと思って、ホームセンターでアサガオの種子を買ってきたんだけど、アサガオの種子が入ったふくろの後ろに、種まきの時期や種まきのしかた、さいばいのポイント、発芽までの日数や、発芽^{てきおん}の適温、育成の適温などのいろいろな情報^{じょうほう}がのっていたよ。種子は、発芽の条件がそろわないと発芽しないのはわかるんだけど、そもそも植物の種子ってどのくらいの期間^{ほぞん}保存しておくことができるのかな。

おぞみ：アサガオの種子は、低温でかんそうした場所で保管できれば10年以上も保存することができるよ。種子の保存期間って、種子のじゅ命^{じゅめい}ってことだと思うんだけど、ハスは種子のじゅ命^{じゅめい}がとてもし長く、千葉県千葉市の地中で発見された大賀ハスの種子は2000年以上前のもので、発芽の条件をそろえたらちゃんと発芽してピンク色のきれいな花がさいたみたいだよ。

ひかる：2000年以上前の種子が発芽するなんてすごいね。どうして、大賀ハスの種子は2000年以上もの間発芽しなかったんだろう。

おぞみ：大賀ハスの種子とアサガオの種子のつくりがちがいにヒントがあるかもしれないね。図は、ハスとアサガオの種子なんだけど、色は黒色で似ているけど、形やかたさ、表面のようすがちがうようだね。



ハスの種子



アサガオの種子

ひかる：なるほど、大賀ハスの種子が2000年以上もの間発芽しなかったのは、種子のつくりが関係していそうだね。



ハスの種子の断面



アサガオの種子の断面

おぞみ：大賀ハスの種子が2000年以上もの間発芽しなかったのは、と考えられそうだね。

ひかる：でも、発芽の条件がそろうまでは、種子はどうなっているんだろう。

おぞみ：種子は、発芽するまで休めん状態^{きゅうじょうじょうたい}にあって、発芽の条件がそろうと種子は休めん状態から目覚めて成長を始め、種子から根が出て、くきがのび、そして葉をつけ、植物のからだができるみたい。だから、種子のじゅ命^{じゅめい}はどれだけ休めんできるかによるね。とはいえ、保存期間は植物の種類によってちがうので、アサガオの種子の休めん状態を長期間^{たも}保っても、大賀ハスの種子のように2000年以上もの間、保存することはできないよ。

ひかる：それぞれの植物の保存期間内で種子の休めん状態を保つことができれば、その間は保存できるってことだね。種子を休めん状態を保つための条件を考えてみようよ。

(1) 会話文中のには、次の内容があてはまります。文中の〔〕にあてはまることばを答えなさい。

大賀ハスの種子の種皮^{あつ}がかたく、厚さが〔〕ため、種子が発芽の条件である水をきゅうしゅうしなかったから

(2) 種子を休めん状態を保つためには、種子をどのような条件で保管すればよいと考えられますか。会話文から考えられる条件を2つ答えなさい。

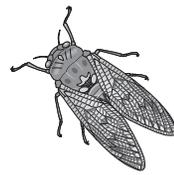
〔〕
〔〕

9 ほじゅう問題 ① こん虫と植物

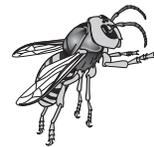
1 こん虫について、次の問いに答えなさい。

- (1) 図は、公園で見つけた動物です。図の動物のうち、こん虫であるのはどれですか。すべて選びなさい。また、その動物を選んだ理由を、からだのつくりに着目して答えなさい。

こん虫〔 〕
理由〔 〕



セミ



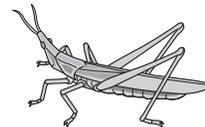
ハチ



ダンゴムシ



アリ



バッタ



クモ

- (2) 表は、カブトムシ、アキアカネ、モンシロチョウの「たまごをうむ場所」と「よう虫が食べるもの」についてまとめたものです。表から、これらの3種類のこん虫に共通して、「たまごをうむ場所」と「よう虫が食べるもの」にはどのような関係があると考えられますか。

	たまごをうむ場所	よう虫が食べるもの
カブトムシ	土の中	土の中のかれた木や葉
アキアカネ	水の中	水の中の生き物
モンシロチョウ	キャベツの葉のうら	キャベツの葉

〔 〕

要点のまとめ

① こん虫のからだと育ち方

- (1) こん虫の成虫のからだ からだが頭・むね・はらの3つに分かれ、むねに6本のあしがついている。
- ① はねは、ふつう4まいであるが、2まいのもの（ハエ）や、はねがないもの（アリ）もいる。
 - ② 目、口、しよっ角は頭についている。
 - ③ 口は、食べ物に適した形をしている。

- (2) こん虫の育ち方 さなぎの時期があるこん虫と、ないこん虫に分けられる。

- ① さなぎの時期があるこん虫 たまご→よう虫→さなぎ→成虫と変化する（完全変態）。
- ② さなぎの時期がないこん虫 たまご→よう虫→成虫と変化する（不完全変態）。

② 動物のすみか

- (1) 動物のすみか こん虫などの動物は、食べ物がある場所や、かくれることができる場所にいる。例草を食べ、からだは緑色のバッタは、草むらで生活している。
- (2) こん虫がたまごをうむ場所 こん虫は、よう虫が食べるものがある場所にたまごをうむ。

図1 モンシロチョウの成虫のからだのつくり

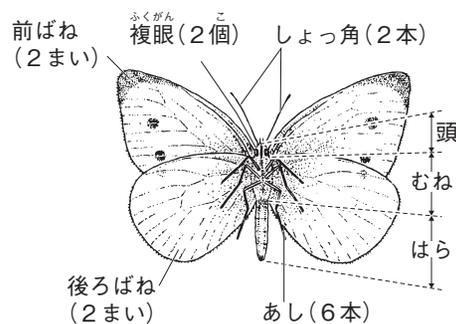


図2 こん虫ではない虫のからだのつくり

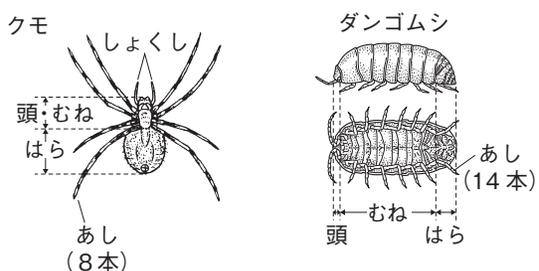


図3 さなぎの時期があるこん虫とないこん虫

さなぎの時期があるこん虫	さなぎの時期がないこん虫
チョウ, ガ, ハチ, カブトムシ, アリ	セミ, バッタ, トンボ, コオロギ, カマキリ

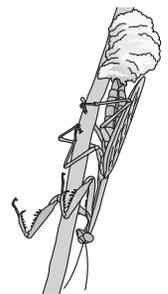
2 次の㉑～㉗は、春、夏、秋、冬に見られた動物と植物のようすを記録したものです。あとの問いに答えなさい。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ㉑ かれ葉をめくると、ナナホシテントウの成虫が集まっていた。 | ㉓ 公園のサクラの葉が赤茶色に、イチヨウの葉が黄色に変わっていた。 |
| ㉒ のき下のツバメの巣では、たまごからかえったひなが鳴いていた。 | ㉔ 花だんでは、ヒョウタンのくきがよくのびていて、白い花がさいていた。 |
| ㉕ 池では、トノサマガエルのおたまじゃくしから後ろあしと前あしが出ていた。 | ㉖ 校庭のタンポポは、花が見られず、葉を地面にへばりつくように広げていた。 |
| ㉗ 草むらでは、セイタカアワダチソウのくきに()。 | ㉘ アサガオの種子を土に植えたら、7日後に芽が出てきた。 |

(1) 図は、㉗を記録したときのスケッチです。㉗の()にあてはまる内容を、記録した動物の名前がわかるように書きなさい。

[]

(2) ㉑～㉗のうち、夏と冬に見られた動物と植物の記録はどれですか。それぞれ2つ選びなさい。 夏()() 冬()()



要点のまとめ

3 季節と動物

- オオカマキリ 春になると、らんの中のたまごがふ化し、よう虫はほかの虫を食べて成長する。秋、成虫は植物のくきにたまごをうみつけて死ぬ。
- ナナホシテントウ 成虫で冬ごしし、春になると成虫はたまごをうむ。よう虫は小さな虫を食べて成虫になる。
- カエル 春、水辺にうんだたまごからかえったおたまじゃくしは、夏に後ろあし、前あしの順にはえたあと、おがなくなり、カエルになる。秋の終わりに、土の中で冬みんする。
- ツバメ 春に南の国から日本にやってきて、たまごをうみ、ひなを育てる。秋に日本をはなれ、南の国へわたる。

図1 こん虫の冬ごし

冬ごしのすがた	例 (冬ごしするおもな場所)
たまご	エンマコオロギ (土の中) オオカマキリ (らんのう) アキアカネ (水の中)
よう虫	カブトムシ (土の中) ギンヤンマ (水の中)
さなぎ	モンシロチョウ (葉やくき) アゲハ (葉やくき)
成虫	ナナホシテントウ (落ち葉の下) キチョウ (葉やくき)

4 季節と植物

- 春に種子をまく植物 春、種子から芽が出る。夏には、くきがよくのび、葉の数が^ふ増え、花をさかせる。秋には、葉やくきがかれ、実の中に種子ができる。この種子が春に芽を出して成長する。例ヘチマ、ヒョウタン、アサガオ
- 秋に葉を落とす木 春になると、芽がふくらみ、葉が出たり、花をさかせたりする。夏には、葉の数が^ふ増えるが、秋になると、葉がかれて落ちる。例サクラ、ウメ

図2 植物の冬ごし

冬ごしのすがた	例
種子	ヘチマ、ヒマワリ、アサガオ、 ハウセンカ、ヒョウタン
ロゼット*	タンポポ、ナズナ
地下の根やくき、球根	ススキ、チューリップ、キク、 ヨモギ
冬芽	サクラ  うろこのようなりんべんからなる。

*葉を地面にへばりつくように広げたすがた。

13

総合問題

①

植物のからだのつくりとはたらき

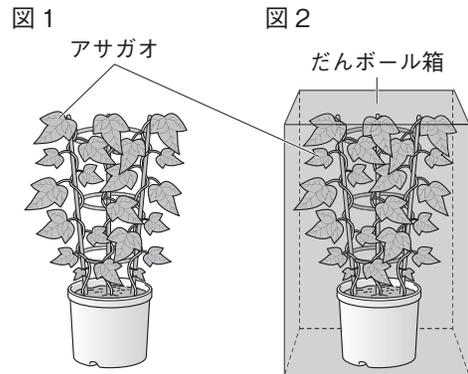
～花のさく条件は？、見た目が似た植物～

1 さくらさんと兄のまことさんは、科学館で行われている、植物をテーマにしたイベントに参加しました。次の資料は、このときのイベントで配られたアサガオの開花の実験に関するものです。あとの問いに答えなさい。

アサガオの開花の条件を調べる実験

【実験】

- ① 同じくらいの大きさに成長した6つのアサガオのはち植えA～Fを、しばらく同じ条件で育てる。
- ② 1日（24時間）のうちで、A～Fのアサガオに光を当てる時間と当てない時間を決める。図1はアサガオに光を当てるときのようすで、光を当てないときは、図2のようにダンボール箱をかぶせる。図3は、A～Fのアサガオに光を当てた時間と当てなかった時間をまとめたものである。



【結果】

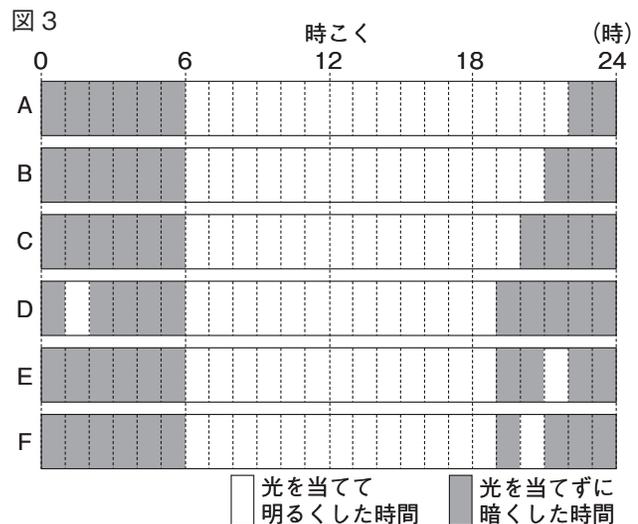
- ・数週間育てると、A、D、Eのアサガオは花がさかなかったが、B、C、Fのアサガオは花がさいた。

【考察】

- ・アサガオは、? ときに、花がさくと考えられる。

【問題】

- ・? にあてはまる内容は何か。



さくら：アサガオは、光が当たる時間によって、花がさいたりさかなかったりするんだね。

まこと：知らなかったよ。最後に問題があるから、実験の資料をよく読んで、? にどんな内容があてはまるか考えてみよう。

さくら：A、B、Cの結果を比べると、光を当てた時間が短いときに花がさいているから、明るくした時間が短いことが、花がさくのに必要な条件なのかな。

まこと：Cと、光を当てた時間の合計が同じDやEで花がさいていないから、そうではなさそうだね。D、E、Fでは、暗くした時間の間に、光を当てている時間があるから、暗くした時間が連続していないね。これが花がさくのに必要な条件と関係があるんだと思うよ。

(1) 【考察】の? にあてはまる内容を、具体的な時間にふれて答えなさい。

{

}

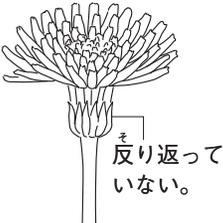
さくら：向こうに、タンポポのコーナーがあるから行ってみよう。

まこと：ここでは、^{ざいらいしゆ}在来種のカントウタンポポと、外来種^{がいらいしゆ}のセイヨウタンポポのちがいについて説明しているみたいだね。

—— さくらさんとまことさんは、資料を受けとって、大人の人から説明を聞いた ——

【資料】

※ロゼット：葉を地面にへばりつくように広げたすがた。

種類	在来種	外来種
植物名	カントウタンポポ	セイヨウタンポポ
スケッチ		
小さい花の数	約 100 個	約 200 個
種子の大きさ・重さ	大きく重い。	小さく軽い。
種子のでき方	ハチなどのこん虫に受粉してもらう。	受粉しなくても種子ができる。
生えている場所	田んぼのあぜ道や畑の道ぞいなど、ほかの植物も数多く見られる場所に生えている。	石がきやアスファルトの道ぞいや公園のしばふなど、広いはんに生えている。
そのほかの特ちょう	夏に葉をからして休みんするが、秋になりまわりの植物が ^か れると、葉を ^か るのばし、ロゼット [*] とよばれるすがたで冬の間 ^に 成長する。	1年中葉をからさないが、夏にまわりの植物がのびてかげになると、成長しなくなる。

まこと：在来種、外来種とは何ですか。

大人：日本で昔から生活している生き物の種類を在来種、あとから外国からやってきて、日本で生活するようになった生き物の種類を外来種といいます。

さくら：では、日本には、在来種のカントウタンポポが多く生えているんですね。

大人：実はそうでもないですよ。都会の街中には、外来種^{がいらいしゆ}のセイヨウタンポポのほうがずっと多く生えているんですよ。それは からですよ。

さくら：なるほど。では、そのうちにカントウタンポポは絶めつしてしまうんでしょうか。

大人：カントウタンポポも、今後、生き残ることができると思います。なぜかわかりますか。

まこと：カントウタンポポは、 からだと思います。

大人：そのとおりです。

(2) 会話文中の には、セイヨウタンポポが都会の街中に多く生えている理由が入ります。その理由を、【資料】の種子のでき方や生えている場所を参考にして答えなさい。

[]

(3) 会話文中の には、カントウタンポポが今後も生き残ることができる理由が入ります。その理由を、【資料】の生えている場所やそのほかの特ちょうを参考にして答えなさい。

[]